

農業を生業にするにあたっての 新規就農者心得

1 地域住民とのお付き合いは大切です

生産基盤である農地は持ち運ぶことができません。また、農道や水路といった地域全体で共有されている生産基盤もあり、他の産業よりも地域社会と密接な関係があります。

「地域社会の一員」として、農業に関する共同作業や、地域の伝統行事などの地域活動に参加しなければいけないこともあるでしょう。

そうした活動に参加することは信頼関係を築くことにつながり、営農に関する相談することで良い情報を得ることもつながります。反対に、地域との関りを避け、調和を拒むようでは、円滑な農業経営は難しいでしょう。

2 経営者としての自覚を持ちましょう

農業は作物を育てるだけではありません。農業を生業として生活していくためには、作物を育てるだけではなく、「事業を経営していく」といった心構えが必要です。

どんな作物を、どれだけ作り、どこに売って収入を得るのか？、そのために必要となる資本(機械・施設、その資金)・労働力・販路の確保、そういったことを決定し、実行・管理していくといった経営感覚を養うことが、栽培技術の習得と併せて重要な事項です。

3 農業に対する自分の気持ちをきちんと確認・共有しましょう

就農にあたってはまず身近な家族に理解していただくことが大切です。自身の現実逃避や短絡的な思いつき、憧れだけでは農業を生業とすることは難しく、家族や周囲の農家に迷惑をかけて終わってしまいかねません。

農業は自然が相手であり、思いもよらない災害が発生すること、それに備えながら経営していくことが前提となります。

4 自己資金を準備しましょう

農業に限らず、事業を始めるにあたっては資金が必要です。初期の設備投資や当面の運転資金については制度資金等を活用することもできますが、生活費の捻出やお子様の成長に応じた費用等の発生を踏まえるとある程度自己資金を確保しておく必要があります。

作物によってはすぐに収入が得られる訳ではありませんし、就農直後はベテラン農家のようにうまく栽培できないこともあります。生活費を含めて3年程度を目安に、生活のための自己資金を準備するのが望ましいです。

産地の想い

～新潟市南区ではこのような人を求めています～

- 新潟市南区に住み、農業を通じて地域を盛り上げてくれる方
- 地域住民との交流を積極的に行い、和を大切にしてくれる方
- 果樹生産組織等に参加し、生産者間の交流を行うとともに、産地を守ってくれる方
- 努力を惜しまず、困難に屈しない、根気強く頑張り抜けるタフな精神力のある方

お問い合わせ先

南区果樹担い手協議会

〒950-1292 新潟県新潟市南区白根1235番地
TEL 025-372-5024 FAX 025-371-0200 E-mail: sangyo.s@city.niigata.lg.jp

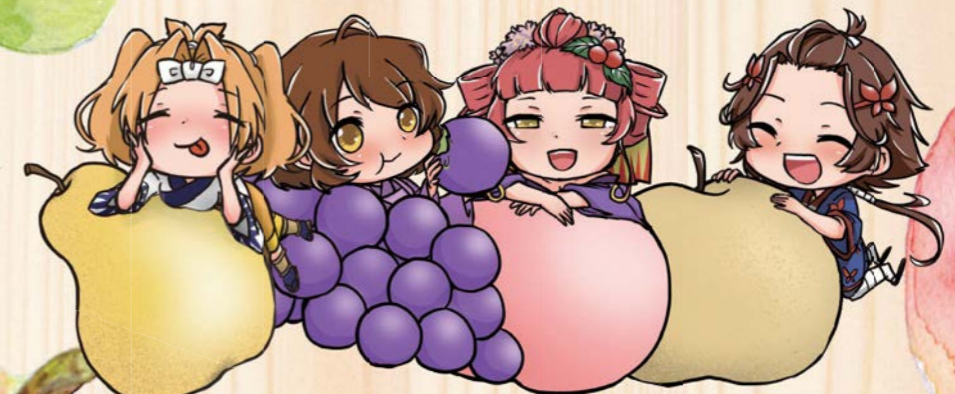
空に大凧・

地に獅子が舞う

果樹のまち

～新潟市の南区で新たに就農しませんか～

南区ご当地キャラクター凧っこ13人衆



大高

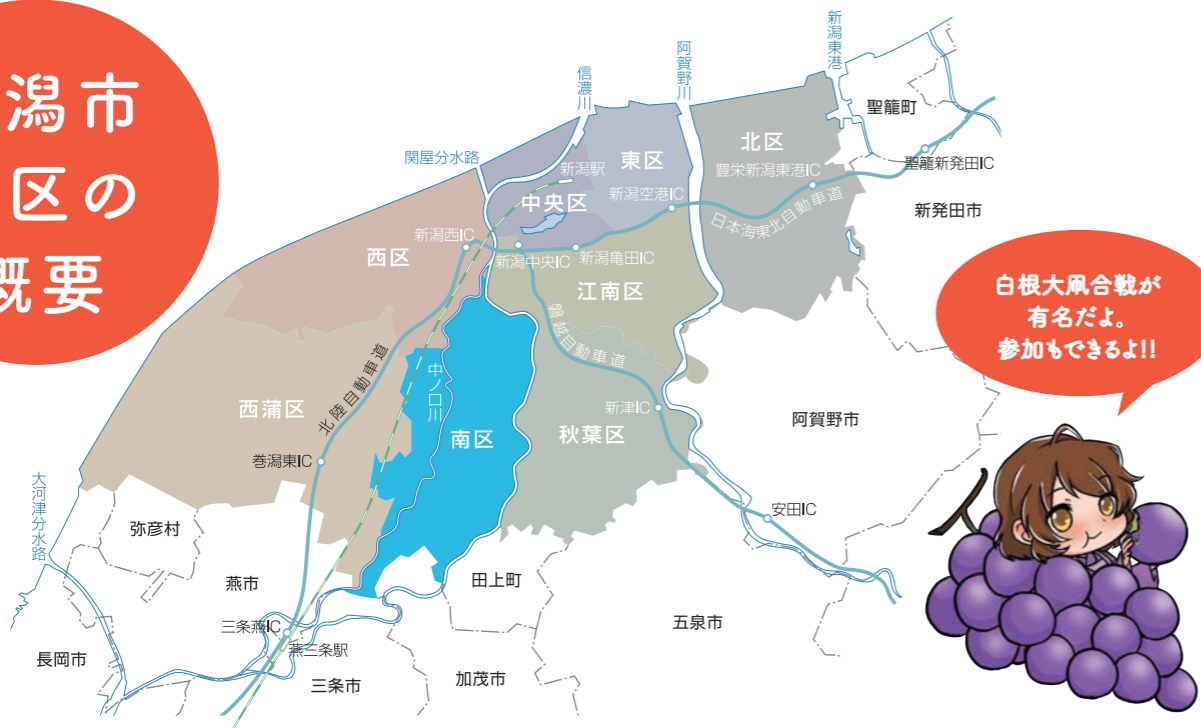
日吉丸

桜蝶

五郎

南区果樹担い手協議会

新潟市 南区の 概要



●南区は新潟平野のほぼ中央に位置し、区の東側には日本一の大河信濃川が、西側には300年の伝統を誇る「白根大鳳合戦」の舞台ともなる中ノ口川が流れる緑豊かな田園地域で、区内の約7割が農地です。

●スーパーマーケットや農産物直売所といった買い物をする場所や、病院、保育・教育施設は充実しており、生活しやすい環境です。また、道路網は非常に良好なので、車を30分ほど走らせれば市の中心部、海や山にも気軽に出かけられます。

●南区の人口はおよそ4万6千人、鉄道はなく、バスが主要な公共交通手段です。市の中心部(中央区、西区方面)へは路線バスが、最寄りのJR駅(田上・矢代田・新津・さつき野、巻・越後曾根、燕・東三条の各駅)には、路線バス・区バスが結節しています。

●四季を色濃く感じることができ、春には桜だけではなく桃や梨の花が咲き、秋には一面を黄金色に染め上げる稲穂と、芳醇な香りとうまさをたたえる果実が実り、豊かな自然の恵みを体感できます。そして、夏は暑く、冬はそれなりに雪が降り積もります。

●農業が大変盛んで、米はもちろんのこと、幻の西洋なし「ル レクチエ」を筆頭に日本なし・もも・ぶどうといった果樹栽培、えだまめやトマト、きゅうりといった野菜栽培、全国的にも珍しい食用菊「かきのもと」やチューリップの切り花、ボケやサツキといった鉢花など、様々な農産物が生産されています。

●おいしい味覚を収穫するところから、味わえるたくさんの観光農園があるほか、農業の豊かさ・大切さを、体験とおして楽しみながら学べる日本初の公設教育ファーム「アグリパーク」が整備され、子どもたちの体験学習の場として、また、農業の新たな担い手育成の場として利用されています。

南区は農業が盛んで、特に果樹の産地として有名なんだね!!



年間栽培管理と作業時間

日本なし

新潟市南区では、日本なしが最も多く栽培されている樹種であり、この地区を代表する果樹です。栽培されている品種は8月中旬に収穫される「幸水」から10月下旬に収穫される「新興」まで、「豊水」「あきづき」「新高」などの品種が栽培されています。最近では受粉のいらない新潟県育成の「新美月」や「新王」といった品種が導入されつつあります。他樹種に比べて所得率は低いですが、栽培管理が比較的容易なので、品種構成によっては大規模栽培が可能な樹種です。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12										
枝管理	整枝・せん定・誘引			芽かき	新梢管理						整枝・せん定											
作業時間	15	15	8	3	5	5					4	19										
結実管理・出荷			花芽整理		摘果				収穫・出荷													
作業時間		10	10	25	15	30	20	10	25	35												
出荷数量(kg)	2,500		単価(円/kg)		350		収入金(円/10a)		875,000		生産費(円/10a)		530,000		所得(円/10a)		345,000		所得率(%)		39.4	

西洋なし

新潟県で栽培されている西洋なしのほとんどが「ル レクチエ」で、その芳醇な香りやとろけるような肉質に加え糖度が高く、11月下旬から出荷されることで、お歳暮のギフト商材として人気のある品種です。日本なしに比べ栽培は若干難しいですが、高品質な果実を出荷できれば、所得は高くなります。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12										
枝管理	整枝・せん定・誘引			芽かき				新梢管理			整枝・せん定											
作業時間	15	15	8	3	5	5					4	19										
結実管理・出荷			花芽整理		摘果					収穫		出荷										
作業時間		10	10	25	30	20	5			20	5	15										
出荷数量(kg)	2,400		単価(円/kg)		650		収入金(円/10a)		1,560,000		生産費(円/10a)		720,000		所得(円/10a)		840,000		所得率(%)		53.8	

もも

新潟市南区で栽培されている品種は6・7月中旬に収穫される「日川白鳳」から9月中旬に収穫される「白根白桃」まで、「八幡白鳳」「日の出(白鳳)」「あかつき」「なつっこ」「なつおとめ」「川中島白桃」などの品種があります。新潟県は梅雨期間が比較的短く、日照時間が多いため着色の良いももが生産されており、高品質なももを生産できれば、高所得が期待できます。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12										
枝管理	整枝・せん定			芽かき	新梢管理		新梢管理				整枝・せん定											
作業時間	15	15		3	5	5					4	19										
結実管理・出荷			摘らい	人工授粉	摘果			収穫・出荷														
作業時間		5	30	30	30	10	20	25	35													
出荷数量(kg)	1,800		単価(円/kg)		550		収入金(円/10a)		990,000		生産費(円/10a)		450,000		所得(円/10a)		540,000		所得率(%)		54.5	

ぶどう

新潟市南区では黒色大粒種の「巨峰」を中心に、近年注目度が高い青系「シャインマスカット」の栽培も行われています。そのほか赤系の品種では糖度が非常に高く、鮮やかな赤色が美しい「クイーンニーナ」が生産者からも注目され、導入が進みつつあります。ぶどうは近年、「シャインマスカット」を中心に単価が高く推移しており、ハウス栽培やジベレリン処理(種なし化)などを行い、商品性の高い房を生産できればより所得を上げることが可能な樹種です。

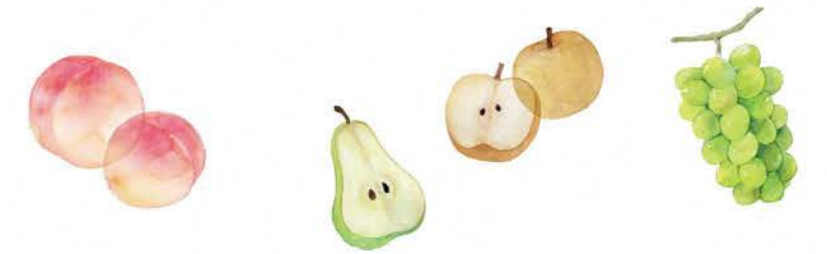


	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12										
枝管理	整枝・誘引			芽かき	新梢管理						整枝・せん定											
作業時間	15	15	8	3	15	15	10				4	19										
結実管理・出荷				房切り	摘房	摘粒		収穫・出荷														
作業時間				20	30	40	20	5	20	10												
出荷数量(kg)	1,500		単価(円/kg)		800		収入金(円/10a)		1,200,000		生産費(円/10a)		550,000		所得(円/10a)		650,000		所得率(%)		54.2	

注意
 * これらの栽培管理の他に施肥や草刈り、薬剤散布などを行う必要があります(表の作業時間には含まれません)。
 * 収量や所得は年によって、気候変動や病害虫の発生状況により変動します。
 * 表内の作業時間や所得は、ベテラン農家を参考にした値であり、栽培初年度から期待できる数値ではありません。

農業を始めたいあなたに 南区果樹担い手協議会が提案いたします。

相談から就農まで新潟市南区役所、農業委員会、新潟県（地域振興局）、農業協同組合、アグリパークの関係機関が一緒にお手伝いします。



ステップ1

まずは相談!!

○就農相談活動

当協議会では、あなたが農業を生業にするための支援制度や研修制度、農地の斡旋等、就農するまでの総合的な相談に応じます。まずはお気軽にお問い合わせください。

内容

- 南区の地域や農業情報提供
- 就農までのステップ説明
- ① 就農までの研修制度（農業体験・里親研修制度等）
- ② 就農に向けた準備
- ③ 就農開始時の支援策等

ステップ2

地域や農業を知ろう!!

○農業体験の実施

宿泊所を併設した農業体験施設「新潟市アグリパーク」で、短期の農業体験が実施できます。また、南区の果樹生産者の元で農作業も体験できます。希望があれば、若手果樹生産者との交流も可能です。

南区の農業や自然・住環境、人柄等を肌で感じてください。

内容

- 栽培したい果樹に応じた2泊3日程度の農業体験
- アグリパークでの宿泊も可能
 - ・ほぼ毎月実施しています。
 - ・南区農業青年部との交流
 - ・南区果樹担い手協議会との面談
 - ・長期研修への意思確認

ステップ3

里親との体験研修!!

○里親とのマッチング

新規就農者を積極的に支援したいと考えている熟練農業者を、「里親」として14名登録しています。次のステップ4（里親研修）に入る前に、里親から農業の厳しさや楽しさ、やりがい伝える研修であるとともに、里親（長期）研修を実施する里親との相性を確認するものになります。

就農へ向けた里親（長期）研修へ移行する前の重要な意志決定段階となります。

内容

- 1週間程度の里親研修
- 3回程度実施して、長期研修先の里親とマッチング
- 宿泊先は新潟市アグリパークも可能
- 南区果樹担い手協議会との面談
- 長期研修への意思確認

ステップ4

里親（長期）研修!!

○技術等の習得

マッチングした里親の元で1～2年程度の長期研修となります。独立自営就農に必要な実践的栽培技術指導のほか、地域や生産組織活動への紹介や参加などを支援します。

さらに里親と良い関係が築ければ、あなたの親代わりとして、里親ネットワークを活用した農地・住宅等の確保支援や、就農後の各種相談も引き受けてくれます。

なお、里親研修で新潟県農業大学校の制度を利用した場合は、各種支援制度を活用しやすくなります。

内容

- 1～2年程度の里親研修
- 生産組織、青年部、地域活動への参加・交流
- 南区果樹担い手協議会との定期的な面談

ステップ5

独立に向けて準備しよう!!

○計画の策定

①農地の確保

営農開始に必要な50a以上の農地を確保するため、「新規就農計画」を策定し、農地の権利を取得する前に審査を受けます。

②新規就農者としての認定

補助金や制度資金を活用するため、必要に応じて「青年等就農計画」を策定し、認定を受けます。

③住宅等を確保

● 県内外から就農目的でアパート等を賃借した場合、家賃の一部を補助します。

補助率：家賃の1/2
（上限1.2万円/月）

● 県内外からの移住定住に合せて自ら居住するための空き家の購入を支援します。

補助率：補助対象経費の1/3
（上限50万円）

※補助金の交付決定を受ける前に空き家の購入、空き家の居住を実施した場合は対象となりませんので注意してください。
補助金は、R4.4月現在のものです。

ステップ6

就農開始!!

①機械・施設の確保

- 元気な農業応援事業（市単）

対象：認定新規就農者（又は認定見込者）
補助率：対象事業費50～300万円
（上限補助額180万円）

- 新潟県農林水産業総合振興事業（県単）新規就農者資本装備支援

対象：認定新規就農者
補助率：機械・施設整備の
上限事業費5,000万円
（1/2以内）

②産地生産組織活動への参加

- JAを通じた販売や他生産者との交流を円滑に進めるため、生産部会への加入や出荷規格の指導を里親やJAがサポートします。
- 営農相談役として新潟県地域振興局、JA、新潟市アグリパーク等が協力します。

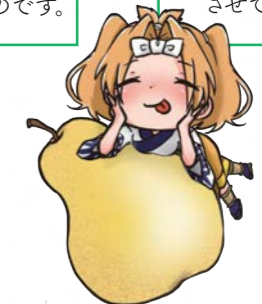
注意点

- 関係機関と随時面談し、研修や就農の状況を確認します。その結果により、研修の中止や就農のお断りをさせていただく場合もあります。

※上記については、就農までの一例です。



まずは、
南区果樹担い手協議会へ
相談だね!!



就農までの
各種サポートがあるから
安心だね!!

里親農家



笠原 節夫

就農した理由

農家としては3代目、(有)白根グレープガーデンは自分で2代目。

里親になった理由

産地を育成するため。

どういふ人から南区へ来てもらいたいのか

田舎生活で近所の付き合いができる方に来てほしい。

新規就農者へのメッセージ

果樹はやり次第ではすごく面白い。
若い方がチャレンジするには夢のある産業。
新しい果物作りをしてもらいたい。



南区で新たに就農した生産者



川瀬 量哉

出身地 岐阜県
就農年 平成24年
年代 30代で就農

就農した理由

脱サラして、将来は観光果樹園をしたかった。
出身が岐阜県だったので、長野県か妻の実家がある新潟市の2択だった。最初に長野県で年間300万円貰えて、家も貰えて、技術はわかるまで教えてもらえる地区があり、見学をしたが、山奥の集落で山の上の2haのまとまった農地だったが、余りの山奥だったので断念した。その後、新潟県新潟地域振興局に電話したときの相手が大変熱心に対応してくれた。最初は、土地もない、家もないことから関係者から無理だと言われた。しかし、やれる事はやって駄目だったら諦めると開き直っていた。

関係者にももとぶどうをしたいと相談したら、桃は阿部農園を葡萄は(有)白根グレープガーデンを紹介され、約1年間研修した。研修期間中に関係者から空いている農地があるからどうだと言われた。棚はあったが樹は伐採されていた農地61aを借受け、苗を育てるところから開始した。当初は、資金が無く、借金したくなかったので、道具を借りて材料は譲ってもらった資材を使用し、経費をかけずに取組んだ。就農して4年目から収穫量が増え、経営も安定してきた。

新規就農者へのメッセージ

周りから反対されても意思がぶれない方であれば大丈夫だし、支援制度等を活用して頑張ってもらいたい。ある程度、収穫できる樹園地を借りることができるなら良いのだが、何もない農地からスタートだと3年間、他の農家のアルバイトをしながら自分の圃場を管理しなければならない。最低3年間は、まとまった売り上げが見込めないで我慢しなければならない。

農業をすると色々な人達との付き合いがあります。人と人の繋がりやコミュニケーションが大切です。



遠藤 茂

就農した理由

江戸時代から農業を営んでおり、長男が家業を継ぐのが当たり前だった。

どういふ人から南区へ来てもらいたいのか

何か興味を持って来てほしい。

新規就農者へのメッセージ

自分のペースで作業ができる。
やりたいようにやりたい事をやりたい分だけ手をかける事ができる。
やった分だけ作物は応えてくれるし、怠れば自分に返ってくる。



青山 淳彦

就農した理由

親と違う事をしたかったが、先人たちが苦勞してできた桃の産地という土台があった。米から転作し桃の産地という土台があったから、入りやすかった。桃にこだわってきた。自分が納得できる桃は、なかなか作るのが難しい。

里親になった理由

白根ブランドを次の世代に繋いでいきたいから。親のような気持ちで接し、新たに就農される方の不安を払拭できるようアドバイスしていきたい。今までの経験を出し惜しみせずに新規就農者へ伝えたい。

どういふ人から南区へ来てもらいたいのか

前向きな気持ちで来てほしい。

新規就農者へのメッセージ

挑戦しながら自分で想像した思考回路で前に進むことが大切。失敗はつきものだが、失敗しないとわからない、それが糧になる。楽しみながら一生懸命農業に関わると楽しくなります。遊び心が大切。